

学校教育目標 「**おい**に学び **やさしく まっすぐ伸びる**」児童の育成
～夢と希望にあふれる元気いっぱいの学校～



みんな大好き大山っ子

有田町立大山小学校

学校だよりNo.23

令和8年10月9日発行

文責:校長 川原 悟



右上のQRコードを読み取っていただくと大山小学校ホームページからも御覧いただけます。

前期の「あゆみ」から、次のステップへ

朝夕の心地よい風に秋の深まりを感じる季節となりました。10月を迎え、今年度もいよいよ後半へと突入いたします。

本日、お子様を通じて前期の通知表「あゆみ」をお渡しいたしました。夏休み中の個人懇談では、1学期の学校での様子や課題について、保護者の皆様にお話しさせていただきました。それから今日までの間にも、子供たちは日々の学習や学校行事、友達との関わりの中で成長を見せてくれています。行事をやり遂げた自信に満ちた表情、難しい課題に粘り強く取り組む姿、下級生を優しく思いやる態度など、夏休み前の頃よりも少し頼もしくなったと感じる場面がいくつもありました。

お渡しした「あゆみ」は、そうした日々の努力や成長の軌跡を、担任が一人一人の顔を浮かべながら心を込めて記録したものです。御家庭で「あゆみ」を開かれる際は、ぜひ次の2つの点を大切に、お子様とお話ししていただければ幸いです。



1 成果やがんばりを言葉にして褒める

「夏休みからさらにここが伸びたね」「毎日諦めずに頑張っていたね」と、まずはできたことや伸びた点、これまで続けてきた努力を褒めてください。具体的に褒めていただくことで、子供たちは「自分の努力を見てくれている」という安心感と、次への意欲を高めることができます。



2 課題は責めるのではなく、一緒に考えて励ます

伸びしろや課題となる点については、「なぜできなかったの」と責めるのではなく、「後半はここをもう少し工夫してみようか」「どうすればやりやすくなるかな」と、お子様と一緒に前向きな改善策を考えてあげてください。一緒に考えていただくことで、課題は「苦手なもの」から「これから乗り越えられる目標」へと変えられます。

学校の「あゆみ」は、これまでの取組を評価するためだけのものではなく、今後の成長へとつなげるためのものでもあります。子供たちが自らの歩みを振り返り、自分の成長を感じながら、後半の学校生活がさらに充実することができるよう学校と家庭が温かい言葉で背中を押していけたらと思います。

後半も子供たち一人一人の可能性をしっかりと伸ばしていきたいと考えています。引き続きの御理解と御協力よろしくお願いします。

子供のつぶやきにハッとしたお話・・・

ある教育コラムで見かけた保護者のお話です。朝、子供と一緒に歩いていた時のこと・・・。

「ほら、〇〇さんだよ。ちゃんと挨拶しなさい!」と子供に促したお母さん。

子供が少し恥ずかしそうに下を向いていると、帰り道に子供からこう言われたそうです。

「お母さんもペコリって頭下げただけで、声出てなかったよ。」

思わず「うっ・・・」と声が詰まってしまったと・・・。

